



## 平成31年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年10月12日

上場会社名 株式会社 ワイズテーブルコーポレーション  
 コード番号 2798 URL <http://www.ystable.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 社長 (氏名) 金山 精三郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員 (氏名) 平尾 健治

TEL 03-5412-0065

四半期報告書提出予定日 平成30年10月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年2月期第2四半期の連結業績(平成30年3月1日～平成30年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第2四半期	7,019	0.9	19		52	32.1	54	
30年2月期第2四半期	7,083	8.1	46	82.7	77	71.6	3	97.9

(注) 包括利益 31年2月期第2四半期 67百万円 ( %) 30年2月期第2四半期 8百万円 ( 95.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第2四半期	20.66	
30年2月期第2四半期	1.26	1.23

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年2月期第2四半期	5,220	1,017	18.9	369.89
30年2月期	5,141	1,087	20.3	392.86

(参考) 自己資本 31年2月期第2四半期 984百万円 30年2月期 1,045百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期		0.00		0.00	0.00
31年2月期		0.00			
31年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成31年 2月期の連結業績予想(平成30年 3月 1日～平成31年 2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,913	0.4	43		153		2		0.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年2月期2Q	2,660,900 株	30年2月期	2,660,900 株
期末自己株式数	31年2月期2Q	145 株	30年2月期	145 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年2月期2Q	2,660,755 株	30年2月期2Q	2,660,755 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の見通しは、当社が現時点において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと異なることがあります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
3. その他	11
継続企業の前提に関する重要事象等	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続き緩やかな景気回復基調にあるものの、海外の政治・経済情勢の不安定さが継続し、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いています。国内の個人消費には持ち直しの動きが見られるものの、外食に対する低価格志向は根強く継続しています。

外食産業においては、食材価格の高騰、天候不順、人材不足や人材関連コストの上昇、消費者の節約志向やライフスタイルの変化などの影響から、業界内の環境は厳しさを増す状況にあります。

このような状況の下、当社グループは、既存店の販売強化と店舗管理体制の見直しに加えて、カジュアルレストラングループにおける新業態の開発を推進してまいりました。当第2四半期連結累計期間におきましては、全社的な人件費の高騰に加えて、「XEX 代官山」の閉店の影響、および新業態2店舗の開業コストを計上したこと等により、売上高は7,019百万円（前年同期比0.9%減少）、営業損失は19百万円（前年同期は営業利益46百万円）、経常利益は52百万円（前年同期比32.1%減少）となりました。また、特別損失として「SALVATORE CUOMO & BAR 心斎橋」等に対する減損損失37百万円および「The Kitchen Salvatore Cuomo 名古屋」の改装に伴う固定資産除却損36百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は54百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益3百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの状況は次の通りです。

#### ①XEXグループ

「XEX」をはじめとする高級レストラン事業であるXEXグループにおいては、インバウンド需要の増加や継続的な販売強化の推進により既存店の売上は概ね堅調に推移しましたが、一部店舗が低調に推移したことに加え、平成30年7月に「XEX 代官山」を閉店した影響から、売上高および営業利益が前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の同グループの売上高は2,142百万円（前年同期比3.9%減少）、営業利益は82百万円（同24.3%減少）となりました。なお、店舗数は直営店8店舗となりました。

#### ②カジュアルレストラングループ

カジュアルレストラングループにおいては、イタリアン業態での新たな出店はなく、サービスと料理の品質向上および人材育成に注力したことにより、既存店の売上高および営業利益は好調に推移し、前年同期を上回る結果となりました。また、新業態の展開を推進し、平成30年6月に「STEAK THE FIRST 高田馬場」を、同年7月に「庵 STEAK & SPICE」を出店いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の同グループの売上高は4,870百万円（前年同期比0.4%増加）、営業利益は472百万円（同7.9%減少）となりました。なお、店舗数は直営店47店舗、FC店48店舗となりました。

#### ③その他

その他は、食料品等の卸売、小売事業及び不動産賃貸事業等により構成されております。当第2四半期連結累計期間の同グループの売上高は6百万円（前年同期比73.4%増加）、営業損失は8百万円（前年同期は営業損失3百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,746百万円となり、前連結会計年度末に比べ172百万円増加いたしました。これは主として、現金及び預金の減少30百万円、売掛金の増加89百万円、原材料及び貯蔵品の増加3百万円、繰延税金資産の増加10百万円等によるものです。固定資産合計は2,473百万円となり、前連結会計年度末に比べ93百万円減少いたしました。これは主として、建物及び構築物の増加25百万円、のれんの減少21百万円、敷金及び保証金の減少43百万円、長期繰延税金資産の減少34百万円等によるものです。

この結果、総資産は5,220百万円となり、前連結会計年度末に比べ78百万円増加いたしました。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は2,446百万円となり、前連結会計年度末に比べ237百万円増加いたしました。これは主として、買掛金の増加92百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少23百万円、未払金の増加109百万円、未払法人税の増加15百万円によるものです。固定負債合計は1,756百万円となり、前連結会計年度末に比べ89百万円減少いたしました。これは主として、長期借入金の減少22百万円、長期前受収益の減少40百万円等によるものです。

この結果、負債合計は4,202百万円となり、前連結会計年度末に比べ148百万円増加いたしました。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,017百万円となり、前連結会計年度末に比べ69百万円減少いたしました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上54百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は18.9%（前連結会計年度末は20.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、平成30年4月16日に公表いたしました「平成30年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期連結業績予想を修正いたしました。

詳細については、平成30年10月12日に公表いたしました「特別損失の計上、平成31年2月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,512,137	1,482,015
売掛金	589,863	679,417
原材料及び貯蔵品	188,418	192,207
繰延税金資産	111,240	121,763
その他	173,679	271,996
貸倒引当金	△532	△539
流動資産合計	2,574,806	2,746,861
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,456,415	1,481,636
工具、器具及び備品(純額)	159,173	158,147
リース資産(純額)	52,379	44,075
建設仮勘定	4,559	2,417
その他(純額)	23,627	22,729
有形固定資産合計	1,696,156	1,709,006
無形固定資産		
のれん	96,361	74,948
その他	35,174	31,266
無形固定資産合計	131,536	106,214
投資その他の資産		
投資有価証券	426	423
長期貸付金	10,186	7,833
敷金及び保証金	639,508	596,352
繰延税金資産	90,790	56,676
その他	15,780	14,330
貸倒引当金	△17,346	△17,114
投資その他の資産合計	739,346	658,501
固定資産合計	2,567,039	2,473,723
資産合計	5,141,845	5,220,584
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	591,409	683,515
1年内返済予定の長期借入金	616,986	593,923
未払金	592,683	701,765
未払法人税等	34,043	49,681
資産除去債務	28,680	35,825
ポイント引当金	19,512	25,362
株主優待引当金	62,079	62,390
その他	263,693	294,288
流動負債合計	2,209,086	2,446,752
固定負債		
長期借入金	1,159,520	1,137,000
資産除去債務	475,028	456,211
長期前受収益	64,710	24,390
その他	146,264	138,535
固定負債合計	1,845,523	1,756,136
負債合計	4,054,609	4,202,889

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	830,375	830,375
資本剰余金	898,683	900,653
利益剰余金	△618,986	△673,955
自己株式	△362	△362
株主資本合計	1,109,709	1,056,710
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	101	99
為替換算調整勘定	△64,504	△72,611
その他の包括利益累計額合計	△64,403	△72,512
新株予約権	32,766	32,025
非支配株主持分	9,163	1,471
純資産合計	1,087,235	1,017,695
負債純資産合計	5,141,845	5,220,584

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
売上高	7,083,703	7,019,212
売上原価	5,793,208	5,770,390
売上総利益	1,290,494	1,248,821
販売費及び一般管理費	1,244,423	1,267,903
営業利益又は営業損失(△)	46,070	△19,081
営業外収益		
受取利息	108	110
協賛金収入	38,326	50,977
為替差益	—	5,683
その他	11,000	25,974
営業外収益合計	49,435	82,745
営業外費用		
支払利息	10,681	9,058
為替差損	5,451	—
その他	2,038	2,107
営業外費用合計	18,171	11,165
経常利益	77,334	52,497
特別利益		
新株予約権戻入益	2,668	—
特別利益合計	2,668	—
特別損失		
固定資産除却損	—	36,828
減損損失	47,706	37,219
特別損失合計	47,706	74,047
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	32,297	△21,549
法人税、住民税及び事業税	55,541	16,254
法人税等調整額	△26,509	23,591
法人税等合計	29,032	39,846
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,265	△61,396
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△82	△6,427
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	3,347	△54,969



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年3月1日 至 平成30年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,265	△61,396
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△44	△2
為替換算調整勘定	4,856	△6,070
その他の包括利益合計	4,812	△6,073
四半期包括利益	8,077	△67,469
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,290	△60,981
非支配株主に係る四半期包括利益	△212	△6,488

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	32,297	△21,549
減価償却費	149,455	126,238
減損損失	47,706	37,219
固定資産除却損	—	36,828
のれん償却額	21,413	21,413
株式報酬費用	5,671	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△214	△225
株主優待引当金の増減額(△は減少)	4,474	311
ポイント引当金の増減額(△は減少)	620	5,849
受取利息及び受取配当金	△117	△120
支払利息	10,681	9,058
為替差損益(△は益)	3,068	△5,867
売上債権の増減額(△は増加)	△61,360	△89,553
たな卸資産の増減額(△は増加)	18,878	△3,789
前払費用の増減額(△は増加)	△220	△8,646
立替金の増減額(△は増加)	—	△99,962
仕入債務の増減額(△は減少)	28,773	108,507
未払金の増減額(△は減少)	5,498	42,205
未払消費税等の増減額(△は減少)	△56,665	21,863
前受収益の増減額(△は減少)	△21,600	△40,320
その他	32,599	△143
小計	220,960	139,317
利息及び配当金の受取額	142	119
利息の支払額	△10,675	△8,928
法人税等の還付額	—	21,899
法人税等の支払額	△110,581	△15,008
営業活動によるキャッシュ・フロー	99,845	137,399
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△116,921	△135,546
無形固定資産の取得による支出	—	△539
貸付けによる支出	△4,715	—
貸付金の回収による収入	3,163	2,353
資産除去債務の履行による支出	—	△27,540
敷金及び保証金の差入による支出	△25,063	△4,033
敷金及び保証金の回収による収入	260	47,406
投資活動によるキャッシュ・フロー	△143,276	△117,899
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	500,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△305,212	△345,583
リース債務の返済による支出	△8,248	△9,338
非支配株主からの払込みによる収入	—	5,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	186,539	△49,421
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,863	△199
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	144,972	△30,121
現金及び現金同等物の期首残高	1,617,528	1,512,137
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,762,500	1,482,015

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,229,952	4,849,766	7,079,718	3,984	7,083,703	—	7,083,703
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	158,751	158,751	△158,751	—
計	2,229,952	4,849,766	7,079,718	162,736	7,242,454	△158,751	7,083,703
セグメント利益	108,894	513,336	622,231	△3,807	618,424	△572,353	46,070

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、食料品等の卸売、小売事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△572,353千円には、セグメント間取引消去額833千円、各セグメントに配分していない全社費用△573,186千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間に、「XEXグループ」セグメントにおいて47,706千円の減損損失を計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,142,276	4,870,027	7,012,303	6,908	7,019,212	—	7,019,212
セグメント間の内部 売上高又は振替高	31	2,968	2,999	226,540	229,540	△229,540	—
計	2,142,308	4,872,995	7,015,303	233,449	7,248,752	△229,540	7,019,212
セグメント利益又は損失 (△)	82,471	472,835	555,307	△8,923	546,384	△565,466	△19,081

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、食料品等の卸売、小売事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△565,466千円には、セグメント間取引消去額2,033千円、各セグメントに配分していない全社費用△567,499千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間に、「カジュアルレストラングループ」セグメントにおいて22,802千円、共用資産である事業所設備について14,417千円の減損損失を計上しております。

### 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。